

男子ホッケーU18日本代表チーム 日韓交流事業 (韓国:大邱市)

日付	2017年10月28日 14:30～		
場所	安心体育公園 大邱ホッケー場	天候	曇り
試合	第1戦	通算結果	日本 0勝1敗

RESULT

Country 日本 JAPAN	2	[0 - 0 0 - 2 0 - 2 2 - 1]	5	Country 韓国 KOREA
-------------------------------	---	---	----------------------------------	---	---	-------------------------------

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	北河 拓実(GK)			
	15	澤口 翔愛			
	15	清水 遥斗			
	14	濱田 康平			
✓	8	萩塚 拓			
✓	9	岩崎 和也			
✓	11	田村 圭梧			
✓	12	大嶋 鴻太(C)			
✓	13	松本 和将			
	7	17 北村 柊希			
✓	18	深見 泰雅			
✓	19	藤沢 颯人			
	7	22 河邊 皓星			
✓	23	丹羽 巧磨			
✓	24	川原 大和			
✓	25	古川 裕大			
Coach			三上 克典		
Manager			仙名 洋一		
UMPIRE			SHIN DONG YOON		

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	MOON EUN TAEK(GK)			
✓	3	PARK YO SEP(C)			
✓	6	KIM JIN SEOK			
✓	7	GO SOUNG HOON			
	28	8 YU SEON IL			
	8	9 SON DA IN			
✓	10	PARK JUN SEOK			
✓	11	LEE CHANG MIN			
	8	12 CHO SUNG BIN			
	8	13 KIM JUN SU			
✓	15	BAE SOUNG MIN			
✓	17	KIM HYUN WOO			
✓	19	PARK JAE HUN			
✓	23	JUNG SUNG HYUN			
	11	25 JANG PIL HYUK			
✓	32	LEE HYE SEUNG			
Coach			LEE SEONG JIN		
Manager			YOO MOON KI		
UMPIRE			KIM TEA HYUN		

Team	Minute	Name	Action	Score
KOR	25	LEE HYE SEUNG	PC	0 - 1
KOR	29	PARK YO SEP(C)	FG	0 - 2
KOR	40	LEE HYE SEUNG	FG	0 - 3
KOR	42	SON DA IN	FG	0 - 4

Team	Minute	Name	Action	Score
KOR	45	KIM HYUN WOO	PC	0 - 5
JPN	52	北村 柊希	PC	1 - 5
JPN	59	古川 裕大	FG	2 - 5

日韓交流事業 第1戦は、日本のセンターパスにより第1Qが開始される。日本は、試合の立ち上がりから韓国の早いプレッシャーに押される場面もあったが、確実な守備から攻撃を仕掛けた。13分#17北村がPCを獲得し、#11田村がフリックシュートを放つがGKにセーブされる。日本は度々チャンスはあったものの得点を奪えずQ1が終了する。

第2Q、20分に韓国はレフトからのセンターリングをフリーでタッチシュートするがGK北河の好セーブでしのぐ。日本は時間の経過とともにDFのマークがあまくなり、攻め込まれる場面が増える。韓国は、23分タッチシュート、24分PCフリックシュートと立て続けにシュートチャンスを作るが決めきれない。猛攻を仕掛ける韓国は、25分、PCから#32LEE HYE SEUNGがフリックシュートを右下に決め先制する。終了間際の29分、日本は自陣でボールを奪われると韓国#3PARK YO SEPIにブッシュシュートを打たれ追加点を奪われる。サークル外からのシュートと思っていた日本はチャレンジするも認められず、0-2でQ2を終了する。

第3Q、日本は速いパスワークからチャンスを作る。32分#17北村のドリブルからPCを獲得。#22河邊がフリックシュートを打つもGKにセーブされる。さらに、36分にもPCから#22河邊がもう一度フリックシュートを打つがまたしてもGKの好セーブに阻まれる。すると、徐々に日本の中盤での連携ミスが目立つようになってくる。すると40分韓国#9SON DA INのリバースシュートのリバウンドを#32LEE HYE SEUNGに押し込まれ追加点を奪われる。さらに42分#17KIM HYUN WOOにレフトサイドから中央にドリブルできれこまれるとフリーでヒットシュートを決められる。日本は悪い流れを変えられないままQ3を終了する。

第4Q、立ち上がりの45分にも韓国#17KIM HYUN WOOにタッチシュートを決められ、0-5と突き放される。しかし、ここから日本が猛攻を仕掛け意地を見せる。48分、52分とライトサイドから#24川原のドリブル突破でPCを獲得するが、GKの好セーブによりなかなか得点を奪えない。52分日本はようやくPCのリバウンドを#17北村が決めて得点を奪う。その後も日本は攻め続けるも追加点をなかなか奪うことができず試合終了かと思われた59分に#25古川がリバースシュートを豪快に決め2-5で試合が終了した。初戦ということもあり、動きの硬さも見られたが、やはりミスが多く失点につながった。自陣でのミスを減らすことを課題とし、次の第2戦目での奮起に期待したい。

日本	3	シュート数	8	韓国
	5	PC数	3	

次戦(第2戦) 10月29日 11:30 ~ 日本対韓国

校閲:男子U18ヘッドコーチ 三上 克典
記責:男子U18アシスタントコーチ 酒井 健之